

科目名称：	現代社会と法	
担当者名：	中村 裕行	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
<p>私たちが生きている「現代社会」は、法治社会といわれるように「法」で治められています。その全てを把握することはできませんが、憲法をはじめとする重要な法、生活に身近な法を理解しておかないと、思わぬトラブルに巻き込まれたり被害を受けたりします。この授業では、日々起こっていることを題材に、皆さんが主権者として生きる手助けができればと考えています。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>私たちの生活を取りまく法や、それに基づいてつくられる制度を理解することが目標です。さらに、世の中で起こることに関心を持ち、自分なりの見方や考え方を身に付けることができればと考えています。</p>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	○
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)	70		30		100
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)					0
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考
<p>状況が許せば、グループワークなども取り入れたいと考えています。テキストは参考程度の扱いですが、事前事後学習において通読し、授業の全体像や学問性を理解する助けとしてください。</p>

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
関心	授業を通じて広げた関心を自分なりに深められる。	授業を通じて関心を広げられる。	授業に関心をもって参加できる。	授業に関心をもって参加できない。
理解	キーワードの関連・周辺事項も含めて説明できる。	キーワードの関連・周辺事項をテキストなどで確認する。	授業で示したキーワードを理解できる。	授業で示したキーワードを理解できない。
思考	様々な意見を踏まえたうえで、自分の意見を深められる。	自分とは違う立場の意見も考えられる。	授業で示した課題について、自分の意見を考えられる。	授業で示した課題について、自分の意見を考えられない。
表現	他者との意見交換を通じて、自分の意見を深められる。	自分の意見を他者に表明したり、説明したりできる。	授業で示した課題について、自分の意見をまとめられる。	授業で示した課題について、自分の意見をまとめられない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 シラバスの説明、法の起源と歴史	シラバス、テキストを参考に、授業の全体像を把握する。プリントをもとに、法の起源と歴史を理解する。	180分
第2回 日本の法体系(六法)、日本国憲法(概説・重要条文・改憲論議)	プリントをもとに、日本の法体系や日本国憲法の重要事項について理解する。	180分
第3回 憲法(統治)、【特集】18歳選挙権	テキスト第8章を読んで、理解を深める。18歳選挙権を通して、主権者意識を高める。	180分
第4回 【特集】裁判員制度	ビデオをもとに、裁判員制度の意義や問題点などについて調べ、自分の意見をまとめる。	180分
第5回 憲法(人権)、【特集】ノーマライゼーション	テキスト第9章を読んで、理解を深める。人権をめぐる裁判事例についても把握する。	180分
第6回 民法(家族法)	テキスト第5章を読んで、理解を深める。関連事案を把握し、自分の見方や考え方をまとめる。	180分
第7回 民法(契約法・消費者法)	テキスト第2章・第3章を読んで、理解を深める。日常生活を通して、消費者の自覚を高める。	180分
第8回 トピックス①(時事問題について簡単に発表する)	直近の時事問題に関心をもっておく。これまでの課題について、他者の意見を参考に自分の意見を深める。	180分
第9回 民法(不法行為) 刑法(犯罪と刑罰)	テキスト第4章・第6章を読んで、理解を深める。日常生活を通して、遵法意識・防犯意識を高める。	180分
第10回 刑法(性犯罪関係)	テキスト第7章を読んで、理解を深める。日常生活や関連事案を通して、防犯意識を高める。	180分
第11回 会社法	テキスト第10章を読んで、理解を深める。特に、起業や株式会社の仕組みについて理解する。	180分
第12回 労働法、【特集】就職の心構え	テキスト第11章を読んで、理解を深める。就職や労働について、意識を高める。	180分
第13回 国連と国際法	テキスト第12章を読んで、理解を深める。特にSDGsの取り組みを、自分の意識や生活と関連付けて考える。	180分
第14回 人権と国際法、【特集】国際的な人権問題	テキスト第13章を読んで、理解を深める。国際的な人権問題や日本が未批准の条約を把握したうえで、難民の受け入れについて考える。	180分
第15回 トピックス②(時事問題について簡単に発表する)	直近の時事問題に関心をもっておく。これまでの課題について、他者の意見を参考に自分の意見を深める。	180分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、テキストを読んで授業の理解を深め、課題が出された場合はレポートにまとめておくこと。

成績評価の方法・基準

定期試験は、70%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
レポート30%で評価する。

課題に対するフィードバック

授業内で提出したレポートは、トピックス①②の中で扱う。定期試験の返却希望者には事務局を通して返却する。

教科書・参考書

『プレステップ 法学<第4版>』(弘文堂) その他、資料を配付し、参考書等は授業の中で示す。